

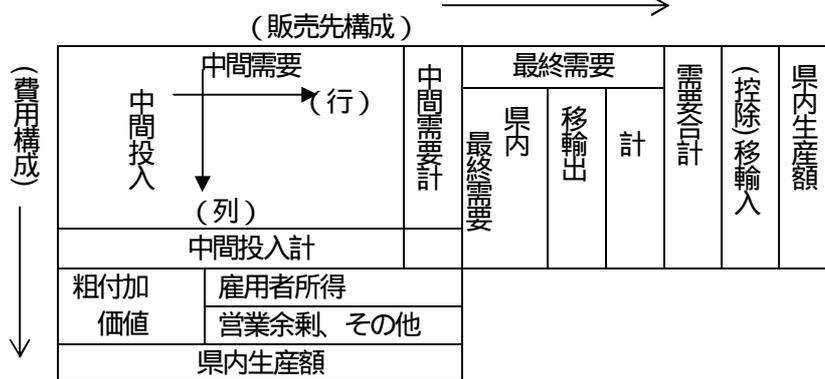
【平成 12 年静岡県産業連関表】

平成 12 年静岡県産業連関表は、平成 12 年の 1 年間に静岡県内における様々な産業が財・サービスを生産するために取引をし、生産された財・サービスが産業、家計、移輸出等にどのように流通したかを統一的に把握し、行列（マトリックス）の形で一覧表に取りまとめたものです。

産業連関表は、国や県などで 5 年毎に作成されており、静岡県における作成は昭和 35 年表に始まり、今回の平成 12 年表で 9 回目となりました。

この表をみることで、県経済の規模や産業の相互依存関係が明らかになり、また、この関係を基に経済波及効果等の分析が可能となります。

< 取引基本表のひな型 >



【産業連関表からみた静岡県経済の概要】

1 県内生産額

(1) 県内生産額は「33 兆 4407 億円」で 9495 億円の増加

平成 12 年における県内生産額は 33 兆 4407 億円で、平成 7 年と比較すると 9495 億円増加しました。

(2) 全国シェアは「3.5%」

県内生産額は国内生産額の 3.5%（平成 7 年と同率）のシェアを占めています。

(3) 第三次産業の構成比が増加

平成 2 年から時系列で見ると、第一次産業及び第二次産業が低下傾向にあり、代わって第三次産業が上昇傾向にあります。

取引基本表（概略）

（単位：百万円）

産出額 投入額	中間需要額	最終需要額	県内生産額
中間投入額	17,100,546	16,340,190	33,440,736
粗付加価値額	16,340,190		
県内生産額	33,440,736		

生産額比較

(単位：百万円)

年次比較	平成2年	平成7年	平成12年
県内生産額	31,364,609	32,491,183	33,440,736
全国シェア	3.6%	3.5%	3.5%

産業別構成比

(単位：%)

産業種別	平成2年	平成7年	平成12年
第一次産業	1.5	1.4	1.2
第二次産業	59.0	56.4	55.0
第三次産業	39.5	42.2	43.8

[用語の説明]

・取引基本表

財・サービスの取引過程のすべてを行と列（小分類表では188行×188列）からなる一覧表に取りまとめたもの。各種計数表の元となる。この表をタテ（列）方向にみると各産業の投入（費用）構成が、また、ヨコ（行）方向にみると産出（販売先）構成が分かる。

・中間投入額

各産業部門の生産活動に必要な原材料、燃料、サービス等の購入費用をいう。なお、生産設備の購入費用は資本形成とされ、中間投入には含まれない。

・粗付加価値額

生産活動によって新たに付加された価値をいう。雇用者所得、営業余剰等からなる。県民経済計算の「総生産（生産額）」に相当する。

・県内生産額

県内に所在する産業の生産活動によって生み出された財・サービスの総額で、原材料等の中間生産物も含まれている。

・中間需要額

各産業部門が生産した財・サービスのうち、他の産業に生産活動の原材料等として産出（販売）された額。金額は中間投入額に等しい。

・最終需要額

各産業部門が生産した財・サービスのうち、原材料等と異なり最終的に消費される財・サービスとして産出（販売）された額。投資も含まれる。金額は粗付加価値額に等しい。

2 投入費用構成及び産出（販売）先構成

(1) 中間投入率は平均「51.1%」で低下傾向

全産業平均の中間投入率は51.1%ですが、平成2年から時系列で見ると低下傾向にあります。これは、原材料・燃料等の割合が低下し、その代わり人件費等の割合が上昇していることを表しています。

(2) 中間投入率の平均「51.1%」は全国より高い

中間投入率の平均51.1%は、全国の45.8%を5.3ポイント上回っています。これは、本県の場合、中間投入率の高い製造業の構成比が産業全体の47.6%を占め、国の31.9%に比べてかなり高いためです。

年次比較	平成 2 年	平成 7 年	平成 12 年
静岡県	55.2	51.9	51.1
全国	48.8	46.1	45.8

産業種別	製造業	その他の産業
静岡県	47.6	52.4
全国	31.9	68.1

3 経済波及効果

(1) 第 1 次間接効果は「1.31」倍で微増

全産業平均の第 1 次間接効果は 1.3151 倍となりました。これは、ある産業で県内需要が 1 単位増加すると、その経済波及効果により新たに 1.3151 倍の需要が生まれることを示します。平成 7 年の 1.3019 倍と比べ微増となっています。

産業種別	平成 2 年	平成 7 年	平成 12 年
第一次産業	1.2611	1.2354	1.2436
第二次産業	1.3425	1.3257	1.3260
第三次産業	1.3210	1.2810	1.3084
産業平均	1.3299	1.3019	1.3151

[用語の説明]

・経済波及効果

ある産業の需要が増加したとき、その産業と関連する他の産業の需要が間接的に誘発され、産業全体に需要増の連鎖が波及することを言う。なお、産業連関表では雇用者所得の増加に伴う再誘発効果（第 2 次間接効果）まで算定できる。

【報告書・電子データの販売】

平成 12 年静岡県産業連関表の報告書・電子データを静岡県統計協会販売しています。より詳細な情報が必要な方はこちらを御利用ください。

** 報告書 **

『平成 12 年静岡県産業連関表』[A4 版 167 ページ]

(内容) 第 1 章 平成 12 年産業連関表からみた静岡県経済

第 2 章 産業連関表の仕組み

第 3 章 平成 12 年表作成の概要

第 4 章 部門分類・コード表

第 5 章 計数表

[販売価格 600 円]

**** 電子データ ****

『平成12年静岡県産業連関表 電子データ』[CD-R]

(内容) 平成12年静岡県産業連関表 第1章～第4章、第5章説明(PDF形式)

統合大分類(32部門) 取引基本表・逆行列係数表等(Microsoft Excel形式)

統合中分類(104部門) 取引基本表・逆行列係数表等(Microsoft Excel形式)

統合小分類(188部門) 取引基本表・逆行列係数表等(Microsoft Excel形式)

[販売価格 1,800円]

《セット販売価格》

報告書+電子データ 2,400円のところ **[セット価格 2,000円]**

申し込み・お問い合わせ先は

静岡県統計協会

〒420-8601

静岡市追手町9番6号(県庁統計利用室内)

TEL 054-221-2298

FAX 054-251-7271